

いれば 一般にその地層水は多くのメタンガスを含有することがわかる。 既成の坑井が存在しない推定ガス田に対しては 試錐コアに対する化学分析による判定が有効である。 泥岩の間隙水が 深部に Cl<sup>-</sup>を増し 2～3 g/l をこえる場合には その泥岩にはさまれる滲透性地層が ガスの稼行層になることが多い。 ガス鉱床は重力的に天水によって破壊されるので 湖成の小さな堆積盆中の堆積物中に成立する鉱床は 多くの場合上下にガス量が少なくなり いわゆる ハンモック状を示す。

地化学探鉱では 化学成分の分布状況によって ガスポテンシャル (1-1  $Q_g=R \times Q_w$  の R) を推定することを目標にする。 そして産ガスに関係深い揚水可能な量 (Q<sub>w</sub>) は 坑井の電気検層の資料などからおもに 推定する。 産ガス井における坑井仕上げは 地化学的資料と地層の物理的資料の双方から決定される。

なお一言するならば 水溶性天然ガス鉱床に対する地化学探鉱法は 油田ガス 炭田ガスおよびその類似型態のガスの鉱床探査にも有効性がある。

2-4 地化学探鉱の実施例

地質調査所では 1948年から日本各地の水溶性天然ガス鉱床の地化学探鉱を実施したが そのおもな地域は次のようである。

〔A〕フィールド調査

- 十勝平野 石狩平野 長万部町 網走市 青森市 津軽平野 盛岡市 能代市 象潟町 秋田市 横手市 仙合一石巻 会津平野 猪苗代湖付近 常盤地域 新潟平野 山形盆地 庄内平野 水戸市 霞ヶ浦付近 磯部町 東京都 千葉県下 神奈川県下 埼玉県下 諏訪湖付近 野尻湖付近 小諸市 清水市 焼津市 掛川市 浜名湖北岸地域 名古屋市西方 三方湖付近 福井平野 河北潟付近 富山平野 大阪市 松江市～出雲市 土佐中村市 佐賀平野 大分市 宮崎市～日南市 加久藤盆地 国分市付近 熊本平野

〔B〕試掘調査

- 石狩平野 網走市 長万部町 新潟平野 水戸市 東京都 千葉県 埼玉県 神奈川県 諏訪湖付近 野尻湖付近 富山平野 箴川平野

(筆者は技術部 地球化学課長)

読者の質問箱

質問 所有鉱区内のマンガン鉱の調査を依頼したいのです 地質調査所ではかかる調査の依頼を受けると聞いておりますが その制度のあらましを教えてください (栃木県 某氏)

解答 調査の依頼者は まず調査の参考資料持参の上 来所説明し 相談の結果 受託業務申請書2通を通商産業大臣宛のものを地質調査所へ提出して頂きます。 提出申請書につき審議し受理されますと 依頼調査承諾の通知が申請者のもとに送付されます。 またその調査に関し派遣される調査員およびその人数・調査日数・受託料が正式に決定され 所定の受託料を日本銀行または最寄の日銀代理店へ納入するようにとの通知が申請者に送付されます。 納入領収書を地質調査所に提示すれば 間もなく貴地に向けて調査員を派遣することになります。 その期日は申請書提出後 だいたい1カ月半くらい後になりますが 予算関係でおくれることもあります。 調査結果は地質調査所長名のある報告書として 申請者のもとに送付致します

調査の参考資料としては 所有鉱区記入の5万分の1地形図・鉱区図・鉱床の分布図・鉱石およびそれに関係ある岩石試料・坑内図などをそろえれば好都合です。 その他参考となる資料があればなお一層好都合です。

受託業務申請書には 目的・個所・期間・鉱業権者又は鉱業代理人の同意者の各項を記入します。 申請書記入については地質調査所と相談の上進められるがよいと思います。 ただ申請者が鉱業権者または鉱業代理人でない時に限り 鉱業権者又は鉱業代理人の同意者の項が使用され 同意者の住所・氏名・捺印が必要です。

受託料はだいたい調査員の出張旅費の1.5倍と手数料との合

計です。 調査員の出張旅費は旅費規定によるものです。 この場合は地質鉱床調査の場合ですから 手数料は調査員の人数に関係なく 1件1日付170円の割です。

採取試料の化学分析結果を希望されるならば それは受託料に含まれず 地質調査所の依頼化学分析の規定に従います。 定量分析であれば 1個1成分に付1,200円の割です。

その他 調査に要する費用については 申請書提出の際によく相談の上決めたいと思います。 以上はだいたい地質鉱床の受託業務の場合について大要を紹介したものです。 このほかに物理探鉱・試錐などの場合があることを付け加えておきます。 (地質相談所)

受託業務申請書	
一、目	的
二、箇	所
三、期	間
四、	鉱業権者又は 鉱業代理人の同意者
上記に依り技術官派遣方願度く申請致します。	
昭和 年 月 日	
申請者住所氏名	
通商産業大臣	
図	
殿	